

## Ono's Desk

### 「友情之梅」が咲きました

昨年は辛亥革命 100 周年でした。宮崎滔天の生家に梅の古木があり、滔天と孫文の友好の梅として知られています。荒尾市から 100 周年を記念してその梅から分けられた幼木二本が昨年本学にも寄贈されました。その「友情之梅」が小さいながらも見事な白い花を咲かせ春雨に佇んでいたのを見ました。日中間、いささかギクシャクしていますが、両国の政治家達にこの清楚な白梅でも眺めながら頭を冷やしてほしいと思ったことでした。



## 3・4月の主な行事予定

3月8日(金)	卒業式・修了式 卒業記念パーティー(ホテル日航熊本)
3月9日(土)	大学院一般選抜試験・社会人選抜(Ⅱ期)試験 →3月15日(金)合格発表
3月13日(水)	化血研評議員会、学校法人銀杏学園理事会・評議員会 (ホテル日航熊本)・センター利用(後期日程)合格発表
3月21日(木) ～22日(金)	学内研究助成・研究成果報告会
3月22日(金)	山根寛先生講演会
3月23日(土)	熊本県臨床検査技師会(創立60周年・ホテル日航熊本)
3月25日(月)	「脳卒中リハビリテーション看護分野」認定看護師教育課程修了式
4月1日(月)	辞令交付式
4月2日(火)	入学式・後援会総会
4月5日(金)	新入生歓迎パーティー(メルパルク熊本)
4月11日(木)	学校法人銀杏学友会歓送迎会(ホテル日航熊本)
4月16日(火) ～30日(火)	コケン大学(タイ)交換研修生4名・教員1名来学
4月27日(土)	新4年次保護者会

## 平成 25 年度学部入試志願者数 過去最高!

センター利用(後期)入試の志願者数は、募集人員 16 名に対して、**83 名**(昨年度 49 名)で過去最高を大幅に更新しました。その結果、平成 25 年度学部入試の志願者数は合計で **1,885 名**(昨年度 1,516 名)となりました。

## 卒業式・修了式

3月8日(金)に卒業式・修了式を開催しました。学部生・大学院生・助産別科生の合計 331 名が巣立ちました。船津理事長は、祝辞で「志を高く持ち、学びの努力を続けよ! 足元を見ながらも、ポジティブに挑戦する気概を持て!」と激励の言葉をかけられました。また、小野学長は、「世間の中で、一市民としても社会のリーダーになってほしい。これからは是非世間の中にあって公共心を発揮していただきたい。」と告辞を述べられました。今後は、一人一人が医療従事者として、それぞれの分野で活躍してくれることと思います。



## 国家試験

2月に国家試験が全て終了しました。教職員・学生一丸となって、試験会場に向かう学生達を見送りました。中には手作りの応援メッセージを持って見送る人や、出発前に円陣を組んで皆で気合を入れる学科などが見られました。

下の写真は、国家試験当日の受験会場での様子です。それぞれがこの大学で学んできたことを自身の力として精いっぱい出し切ってくれたことでしょう。



3月25日には看護師・保健師・助産師国家試験合格発表が、そして29日には臨床検査技師・理学療法士・作業療法士国家試験合格発表があります。学生の努力が報われる結果が出てほしいと願っています!

## 利益相反に関する研修会

2月25日(月)に、桜樹法律事務所の馬場啓弁護士による利益相反に関する研修会が本学の教職員向けに開催されました。具体的な判例を使って、とても分かり易く説明して頂き、利益相反について再確認する良い機会になりました。



## 学生の憩いの場

学生達が自由に集い憩える空間を創る為、キャンパススクエアを改修していましたが、無事に工事が終わりました。中央には、一本の木を囲んで休憩するベンチがあり、地面にはブロックレンガが敷き詰められています。4月からは、入学生も新たに入ってきますので、多くの学生に利用してもらいたいと思います！



## 平成 24 年度学内研究助成・特別報告会

3月6日(水)に平成22年度採択研究課題(Aタイプ)の特別報告会を開催し、赤池紀生研究顧問が、「大型骨格筋ジストニア(筋固縮)緩解剤としてのA1NTXの開発」について、竹熊千晶教授が「NPO法人ホームホスピスにおけるケア実践と地域ケア・システムのモデル構築」についてそれぞれ報告されました。3月21日(木)～22日(金)には、学内研究助成・研究成果報告会を開催し、全部で38の研究テーマについてそれぞれ15分ずつ報告されます。多数の教職員のご参加をお待ちしています。



## 生活を支援する作業療法の視野

3月22日(金)16:30～18:00に50周年記念館で「生活を支援する作業療法の視野～ひとと植物の関わり～」について、作業療法士であり登録園芸療法士でもある山根寛氏にご講演頂きます。4月から「作業療法学専攻」が「生活機能療法学専攻」に名称変更をします。それに伴い更にカリキュラムの内容をこれまで以上に充実させるため、「園芸療法」に関するカリキュラムの導入について検討中です。それに先立ち、今回の講演会を開催する運びとなりました。教職員の皆様の多数のご参加をお願いします。

## 減災型地域社会のリーダー養成プログラム

文部科学省大学間連携共同教育事業で採択された「減災型地域社会のリーダー養成プログラム」がいよいよ始まります。この事業は、熊本大学(代表校)、熊本県立大学、熊本学園大学、及び本学の4大学が連携して行うもので、今年度から平成28年度にかけて取り組む予定です。まだスタートしたばかりですが、地域貢献の一つとして実のあるものにしたいと考えています。まず第一弾として3月14日(木)～20日(水)に船津理事長・小野学長・竹熊教授・石原事務局長が2011年に洪水被害に遭ったタイの視察調査に行かれます。

## 校友会主催 リーダーズ研修会

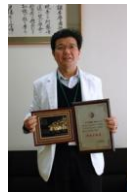
2月7～8日の1泊2日、国立阿蘇青少年交流の家でリーダーズ研修会を開催し、クラブ代表者27名、校友会役員21名の学生が参加しました。リーダーシップトレーニングでは、「リーダーシップとは何か」について確認した後、グループワークを行いました。そこでは、各団体の現状と問題点を共有し、問題点の原因分析及解決策を検討しました。各グループとも活発な意見交換が行われ、充実した時間となりました。その他に、ドッジビーや懇親会を行い、学生同士の交流もできたようです。参加学生からは「楽しく有意義な時間が過ごせた」「リーダーとしての自覚を持てた」などの感想があり、それぞれの学生にとって実り多い2日間になったようです。

この研修で築いた人的ネットワークを活用し、クラブ活動や校友会活動においてリーダーシップを発揮しながら大学を盛り上げていってほしいと思います。(文責:学務課)



## JICA 人材育成支援プロジェクトに参加して

山元教授が、JICA 派遣事業の一環として中国桂林市リハビリ医療センター人材育成支援3年プロジェクト(熊大大学院環境保健医学部分野魏長年准教授主導)の中で、約1年半計5回桂林市中医医院および南寧市の広西省第3人民病院を訪問し、セミナーや実際の患者様の臨床指導を実施しました。その結果、病院長



をはじめ他のスタッフからも「リハビリテーションの概念と患者様が入院から退院までの全過程の中でチームワーク(医師、PT、OT、ST、義肢装具士、看護師、患者家族等)の重要性を認識できました」とのコメントを頂きました。

写真は桂林市中医医院からの特別感謝状と桂林市科技局からの感謝楯(2月)。

## ボランティア活動

2月20日(水)に本学の医療ボランティアサークル Lovers が、熊本SCD・MSA友の会から感謝状を授与し、小野学長が Lovers の学生に渡されました。写真はその際のもので



その他にも、キッズサポート熊遊隊に参加している学生の中で、今東北の被災地に行ってボランティア活動をしている学生も3名、中には今回が5回目の福島訪問になる学生もいます。この気持ちを持ち続けてほしいと思います。

## 感謝のあいさつ



卒業生も本学で国家試験の為、必死に勉強を続けてきました。国家試験受験後には、自主的に石原事務局長へ挨拶をしに来てくれました。